

年間のゴールの姿

自分の考えを他者に向けて、わかりやすい表現で伝えることができる児童生徒

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ
正しく表現する力が十分ではない。	<p>[現状と要因]</p> <p>○不足や間違いを自覚する力がついてきた。 ▲自分の考えにぴったりの言葉で表現する力が弱い。 →児童生徒が、自分の考えにぴったりの言葉で、よりよく表現できるための手立てが不足している。</p> <p>[根拠となるデータ]</p> <p>○評価問題 5年算数 6 30cmを1としたときに45cmが1.5にあたるわけを書く 75% 8年国語 1七 資料にある情報を用いて、意見文の下書きに加える 100% ▲評価問題 5年国語 3二 資料をもとに文章を付け加える問題 25% 8年国語 1三 話の展開に沿った質問内容を書く 40%</p>

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的取組	評価項目	評価
<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを表現する場面を2回設定する。 (1回目は既習を使ったり、予想を考えたりして可視化する。2回目は本時の授業内容を踏まえてまとめや振り返りを書く。) 第三者の意見を提示し、生徒の考えを深めたり、揺さぶったりする。 (ICTや教具などを使って提示する。) 	ノート検証 「用語やキーワードを使って正しく表現している」80% 教員アンケート 「第三者の意見を提示している」100% 児童生徒アンケート 「用語やキーワードを使って正しく表現している」80% 研究授業参加者検証 「用語やキーワードを使って正しく表現している」70%	

(3) 検証と改善 (C・A)

月	評価方法 (誰が, いつ)	結果	取組の成果○・課題▲
4	児童生徒アンケート (宮原教諭、月末) 教員アンケート (宮原教諭、月末) ノート検証 (全教諭、月末) 全国学力調査、県基礎学力調査 (井関教諭)		
5	ノート検証 (全教諭、月末) 直川教諭 研究授業 GIGA レポート研修		
6	ノート検証 (全教諭、月末) 宮原教諭 研究授業 互見授業月間 GIGA レポート研修		
7	児童生徒アンケート (宮原教諭、月末) 教員アンケート (宮原教諭、月末) 検証問題 (全教諭、月末)		

取組の成果○・課題▲

2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な話を聴く姿を身に付けることができる。 書く時に正しい表現で書けるような手立てをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業姿勢「グーピタピン」で授業を受けることができる。 →教師アンケート 生徒アンケート 90%以上 キーワードの提示、見本の提示、型の提示などをする。 →教師アンケート 生徒アンケート 90%以上 	

